



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月23日
上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社
 コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 数原 滋彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 蛇川 寿史 TEL 03-3458-6215
 四半期報告書提出予定日 2020年11月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	39,540	△14.7	3,725	△41.0	4,080	△37.3	2,640	△39.0
2019年12月期第3四半期	46,350	2.4	6,312	△2.1	6,506	△3.3	4,327	△0.9

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,350百万円 (△62.0%) 2019年12月期第3四半期 3,559百万円 (17.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	47.01	—
2019年12月期第3四半期	75.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	114,564	90,015	77.1	1,574.09
2019年12月期	118,644	90,849	75.2	1,581.60

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 88,342百万円 2019年12月期 89,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年12月期	—	15.50	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	15.50	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	△14.6	4,000	△44.5	4,300	△43.3	2,800	△36.9	49.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	64,286,292株	2019年12月期	64,286,292株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	8,163,212株	2019年12月期	7,891,212株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	56,168,016株	2019年12月期3Q	57,115,098株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、経済活動が大きく制限され、極めて厳しい状況で推移いたしました。緊急事態宣言が解除されて以降は、政府による施策も講じられ経済活動が徐々に再開しているものの、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の懸念があり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属しております筆記具業界におきましては、国内外の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、企業活動の制限によるノベルティ需要の縮小や、世界各国の海外渡航制限によるインバウンド需要の減少といった影響がみられる一方、外出規制やテレワークの広がりによって個人需要が高まりを見せつつあります。また、新たな生活様式が求められるなか、インターネットを通じた流通は広まりをみせており、こうした市場環境の変化に迅速に適応していくことが求められています。

このような経営環境の中、当社グループでは、テレワークや時差出勤などの積極的な活用や、オンラインでの会議の実施等を推進し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に最大限配慮しながら、「最高の品質こそ最大のサービス」という社是のもと、お客様の「かく（書く／描く）」行為に喜びや驚きといった彩りを添えることができるような商品開発に継続して取り組むとともに、巣ごもり需要の高まりを受け、色鉛筆やポスカといった既存の商品の拡売にも努めてまいりました。さらに、市場環境に対応した柔軟な生産体制への移行やコスト抑制に努める一方で、将来への投資は維持しつつ、収益の確保に当社グループ一丸となって取り組んでまいりました。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は39,540百万円（前年同期比14.7%減）となりました。また営業利益は3,725百万円（前年同期比41.0%減）、経常利益は4,080百万円（前年同期比37.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,640百万円（前年同期比39.0%減）となりました。

セグメント別の業績を概観いたしますと、筆記具及び筆記具周辺商品事業におきましては、国内市場、海外市場ともに新型コロナウイルス感染症の影響で悪化した市場環境の改善の兆しは見られず、厳しい販売状況となりました。そのため、外部顧客への売上高は37,791百万円（前年同期比15.2%減）となりました。粘着テープ事業、手工芸品事業といったその他の事業におきましても、事業を取り巻く市場環境は依然として厳しく、外部顧客への売上高は1,748百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、主にたな卸資産や建物及び構築物が増加したものの、受取手形及び売掛金や投資有価証券が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて4,080百万円減少し114,564百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金や長期借入金が増加したことにより前連結会計年度末に比べて3,246百万円減少し24,548百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて833百万円減少し90,015百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年7月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,184	43,382
受取手形及び売掛金	16,671	13,410
たな卸資産	16,217	18,046
その他	1,800	1,583
貸倒引当金	△1,591	△1,542
流動資産合計	79,283	74,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,846	12,535
その他（純額）	10,834	11,481
有形固定資産合計	21,681	24,017
無形固定資産	1,512	1,316
投資その他の資産		
投資有価証券	14,533	12,822
その他	1,634	1,528
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	16,167	14,351
固定資産合計	39,361	39,685
資産合計	118,644	114,564

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,149	5,814
短期借入金	2,502	2,483
未払法人税等	1,085	327
賞与引当金	540	1,032
返品引当金	218	48
その他	5,140	5,713
流動負債合計	17,636	15,421
固定負債		
長期借入金	4,738	4,198
退職給付に係る負債	3,774	3,859
役員退職慰労引当金	103	112
その他	1,541	956
固定負債合計	10,158	9,127
負債合計	27,795	24,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,721	3,725
利益剰余金	81,718	82,653
自己株式	△6,330	△6,764
株主資本合計	83,606	84,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,002	3,859
為替換算調整勘定	573	345
退職給付に係る調整累計額	11	25
その他の包括利益累計額合計	5,587	4,230
非支配株主持分	1,654	1,672
純資産合計	90,849	90,015
負債純資産合計	118,644	114,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	46,350	39,540
売上原価	22,832	19,641
売上総利益	23,518	19,899
販売費及び一般管理費	17,206	16,173
営業利益	6,312	3,725
営業外収益		
受取利息	16	14
受取配当金	206	184
受取地代家賃	54	44
受取保険金	29	52
助成金収入	0	188
その他	32	76
営業外収益合計	340	560
営業外費用		
支払利息	29	36
為替差損	28	74
シンジケートローン手数料	28	28
売上割引	42	45
その他	17	20
営業外費用合計	145	205
経常利益	6,506	4,080
特別利益		
固定資産売却益	10	189
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	16	189
特別損失		
固定資産除売却損	4	6
投資有価証券売却損	50	—
投資有価証券評価損	—	12
工場再編損失	193	269
代理店契約解約損	—	180
特別損失合計	248	468
税金等調整前四半期純利益	6,274	3,802
法人税等	1,790	1,063
四半期純利益	4,483	2,738
非支配株主に帰属する四半期純利益	155	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,327	2,640

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	4,483	2,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	△1,143
為替換算調整勘定	△801	△258
退職給付に係る調整額	△8	13
その他の包括利益合計	△923	△1,387
四半期包括利益	3,559	1,350
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,485	1,283
非支配株主に係る四半期包括利益	73	67

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	44,557	1,793	46,350	—	46,350
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	20	29	△29	—
計	44,566	1,813	46,380	△29	46,350
セグメント利益	6,249	48	6,298	13	6,312

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	37,791	1,748	39,540	—	39,540
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	20	22	△22	—
計	37,793	1,769	39,562	△22	39,540
セグメント利益	3,681	28	3,709	16	3,725

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。